

2019年4月24日

中等社会科教育学会 会員 各位

学会誌編集委員長 井田仁康

『中等社会科教育研究』（『筑波社会科研究』も含む）のオープンアクセス化について（お願い）

学会誌編集委員長および事務局では『中等社会科教育研究』（『筑波社会科研究』も含む）を多くの方々にご購読、ご参照いただき、社会科教育研究の発展にお役立ていただくために、長年の懸案事項でありました同誌掲載の論文等(※)のオープンアクセス化について検討して参りました。その結果、次のような結論に達しましたので、ご報告申し上げます。

※論文等：「執筆要領」に示されている「研究論文」「実践論文」「研究ノート」「授業レポート」「社会科教育情報」のみならず、同誌に掲載されている論文・論稿・記事のすべて。

1. オープンアクセス化の方法について

国立大学法人筑波大学が運営する「つくばリポジトリ」に登録、オープンアクセス化を図る。

2. オープンアクセス化のための手続き

(1) 既刊の号(第1号～第37号)に掲載の論文等について

オープンアクセス化を告知する文章(本文章)を2019年4月発送の学会誌第37号に同封し、論文などの著書を含む会員の皆さまに本案件について告知、ご意見をお聞きし、2019年11月17日(日)開催の全国大会時に開かれる総会において本件について提案、承認を得ることをもって同意を得たものとし、リポジトリへの登録を実施する。また、HPにおいても告知する。

(2) これから発行される号(38号～)に掲載の論文等について

「執筆要領」に次の一文を加え、リポジトリへの登録を前提に投稿していただき、掲載された場合において登録を実施する。なお、「依頼論文」「書評」「図書紹介」「シンポジウム報告」等、投稿によらない論文等についてもリポジトリへの登録を前提に寄稿していただくこととし、「執筆要領」にその旨、付記する。

<『中等社会科教育研究』執筆要領>

(11) 掲載された論文等については「つくばリポジトリ」に登録し、公開する。「依頼論文」「書評」「図書紹介」「シンポジウム報告」等、投稿によらない論文等についても「つくばリポジトリ」に登録するものとする。

中等社会科教育学会は全国誌ですが、筑社の流れをくみ、事務局も筑波大学にあることから、つくばリポジトリを窓口オープンアクセス化を行うことにしました。会員の皆様の中で上記の内容に関してご意見などある場合は、2019年10月31日(木)までに事務局あるいは國分までメールでお知らせくださるよう、お願い申し上げます。

中等社会科教育学会 事務局

E-mail: chuushagaku@yahoo.co.jp
kokubu@human.tsukuba.ac.jp